

Session 7

牧会の基本③観察

羊飼いは1匹1匹の羊を常によく観察し、怪我や病気がないか、食欲はあるか、他の羊と良好か、危険は無いかなどを確認します。また、その羊の癖、性質を見分け、上手に世話します。何か問題があれば、すみやかに対処します。良い羊飼いは、いつも羊を観察して心を配っています。

チェックイン

チェックインは、公式システムなものもあれば、非公式な交わりを通して行うこともあります。大切なのは、公式でも非公式でも、羊飼いは、その時間をただ楽しんでいるわけではなく、常に観察や愛着に役立っている、ということです。チェックインは「羊飼いの意識」が大切です。

チェックインの媒体

会社の面談のように「さあ今からチェックインの時間です」と公式に単発で始まるとは限りません。熟練した羊飼いは上記のように、バイスタ、食事、余興（レクリエーション）などをコミュニケーションの媒体にしてチェックインにも兼用します。

チェックインの頻度

チェックインの間隔は、羊ごとに違います。あまり頻繁すぎると「信用されていない、監視されている」と感じる羊もいます。あまり散発だと「愛されていない、放置されている」と感じる羊もいます。聖霊の導きを受け取り、適切に行いましょう。

チェックインの濃度

チェックインの濃度は2種類あります。

媒体の濃度 …時間と労力の濃度

内容の濃度 …自己開示の濃度

着眼点（観察すべきところ）の例

・御言葉を受け取れているか？・変な教えが心に侵入していないか？（異端は若い羊を狙う）・信仰は培われているか？・祈っているか？・教会内の人間関係はどうか？・教会の権威への従順さ、素直さはあるか？・喜びはあるか？・仮面を被っていないか？・きよい生活を送っているか？ …など

羊飼いは自分が気づけることしか観察できません。なので、自分自身が成長して視点を養っていくことが大切です。また、言語化できないけれども「何か違和感がある」という直感的なものもじつは重要です。

熟練したトレーナーは、ボクサーがジムに入ってくる姿を見ただけで、その朝ロードワークをこなしたか否かを見分けます。体の仕上がり具合を見分けるからです。羊飼いは羊の心の仕上がり具合を見分ける目が与えられるように、いつも主に祈り尋ねましょう。